

令和4年1月～9月事故の状況

【事故の特徴】

事故件数は「72件」発生しており、過去5年平均に比べ22件程度多い状況。

労働災害が「35件」発生しており、過去5年平均に比べ7件増加。

休業4日以上労働災害が「8件」発生し、非常に高くなっている。

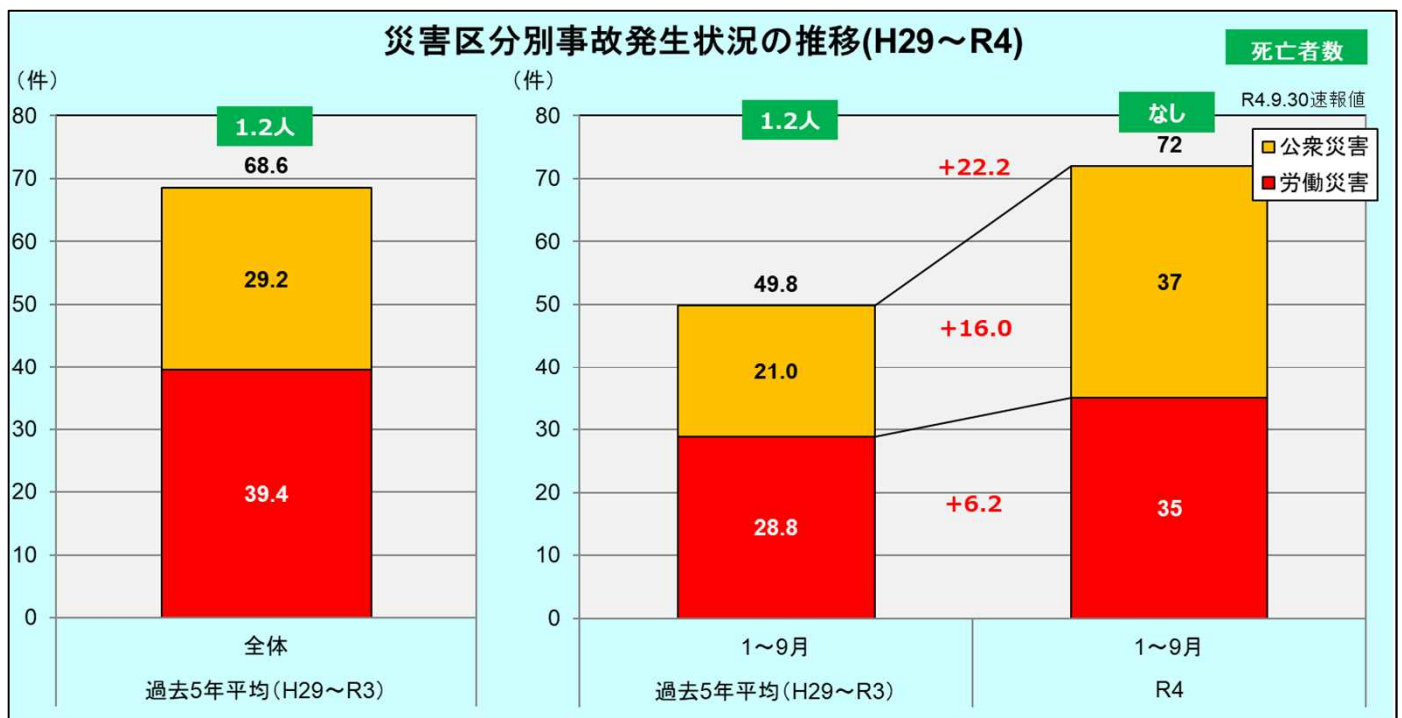
- ◆ 気温低下や気候の急変などに注意し、事故対策の徹底をお願いします。
- ◆ コロナ対策、冬期施工の安全対策をお願いします。

1. 工事事故の発生状況

使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。
北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

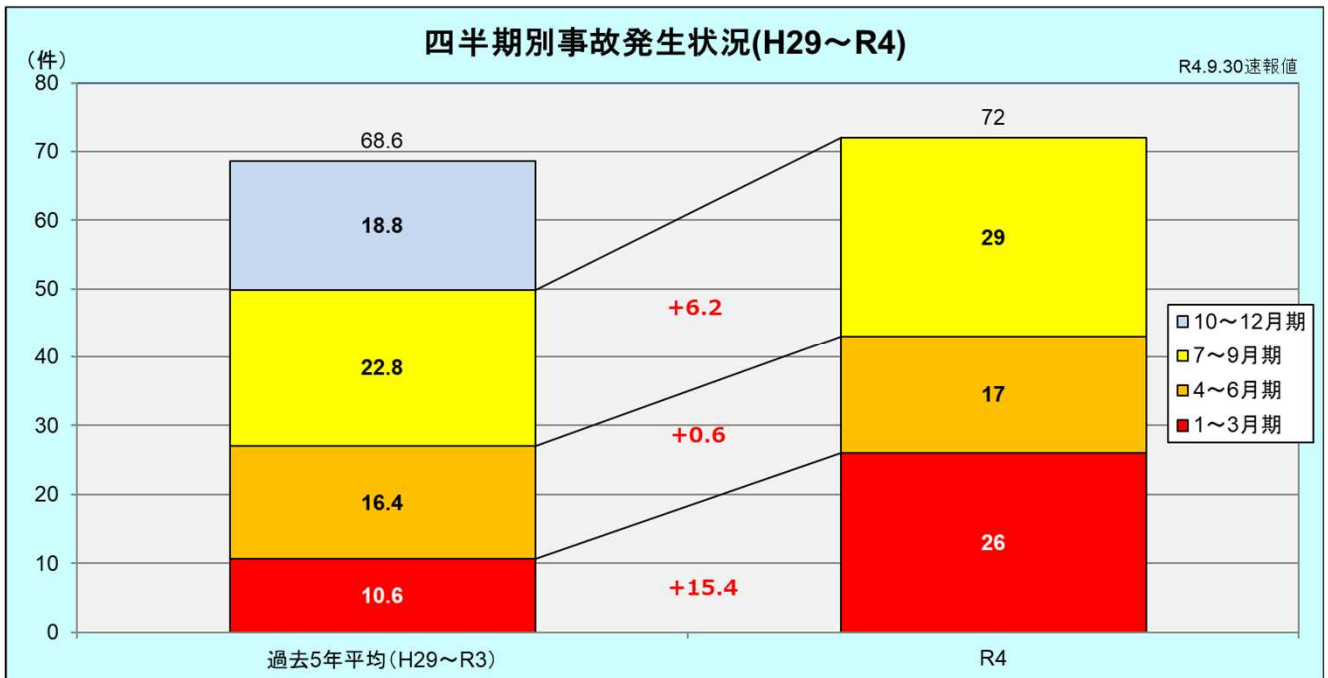
1) 過去5年平均との比較

1月から9月までの事故件数は72件で過去5年平均と比較すると22件多い状況です。労働災害は35件発生しており、過去5年平均と比較して6件程度増加しています。



2) 四半期別の事故発生状況

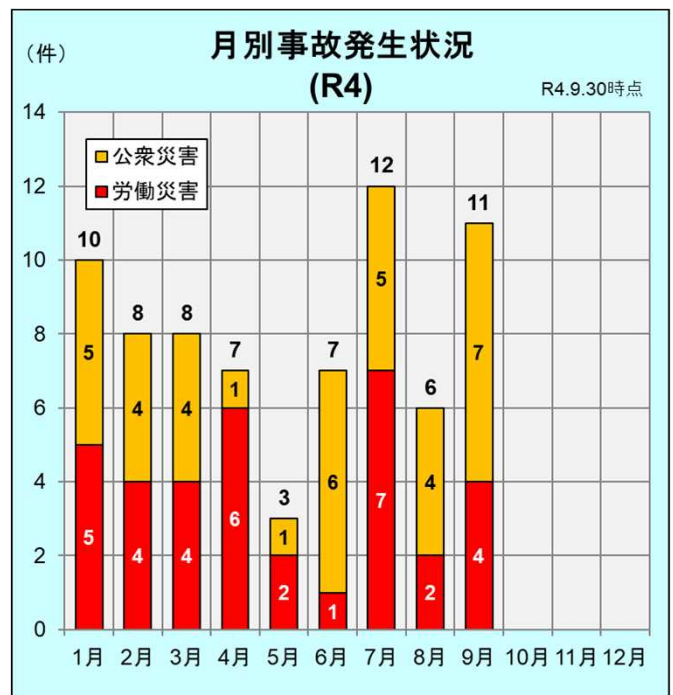
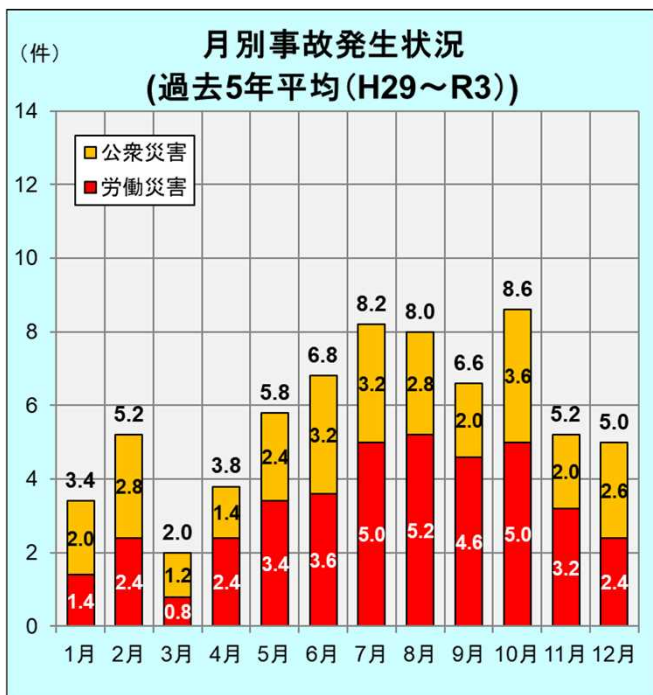
R4の1～9月は72件で過去5年平均と比べ22件増加しており、第三四半期時点で昨年度の発生件数を上回っている状況です。



数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。
北陸地方整備局発注の直轄工事

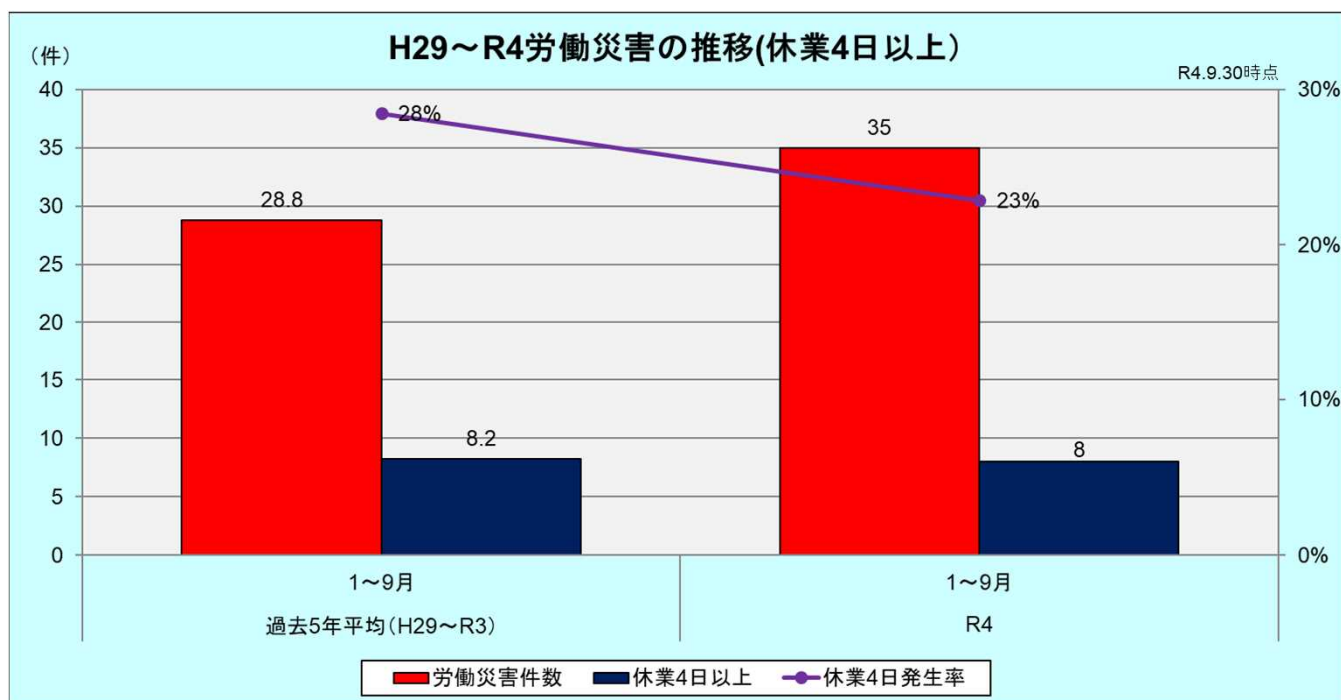
3) 月別の事故発生件数

過去5年平均と比較すると、5、8月以外の全ての月で増加しています。全体を通して公衆災害の増加が著しいです。



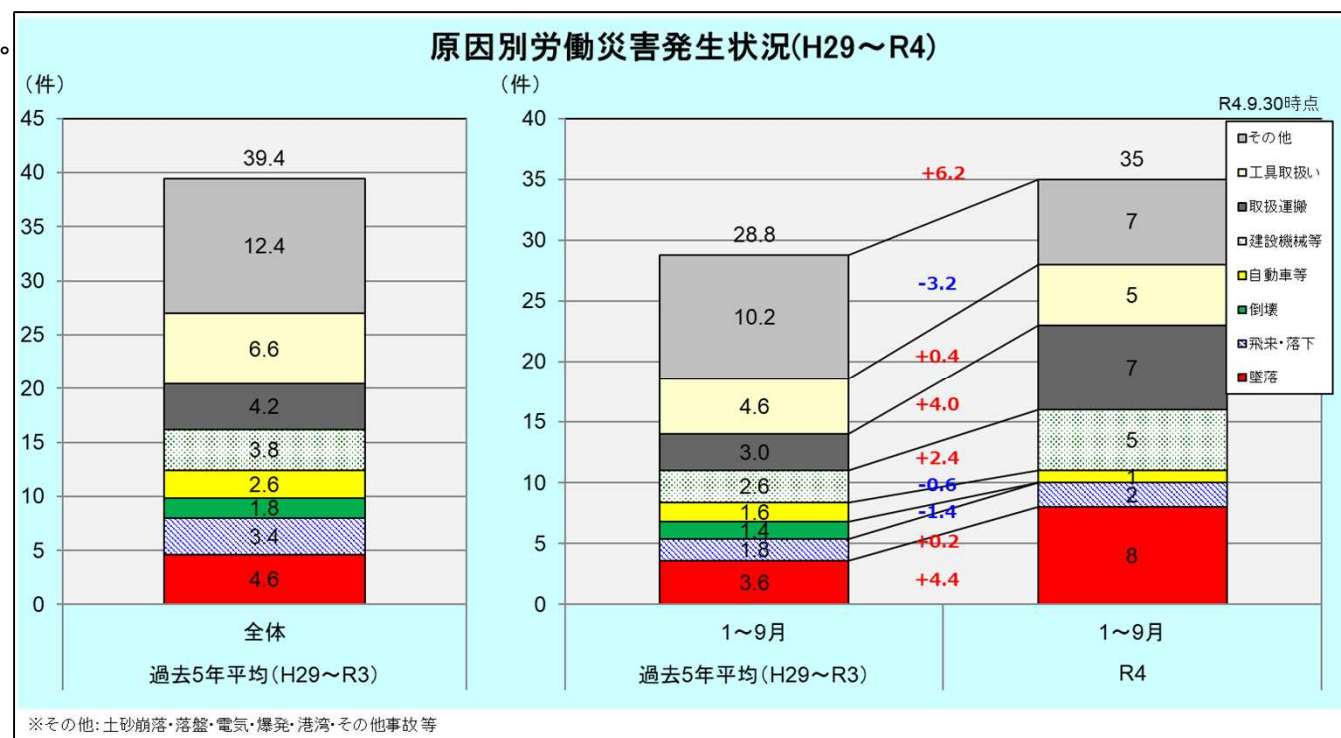
4) 休業4日以上 の事故発生状況

R4の労働災害は35件のうち休業4日以上 の事故は8件発生しています。過去5年平均と比べると労働災害は約7件増加しており、非常に高くなっています。



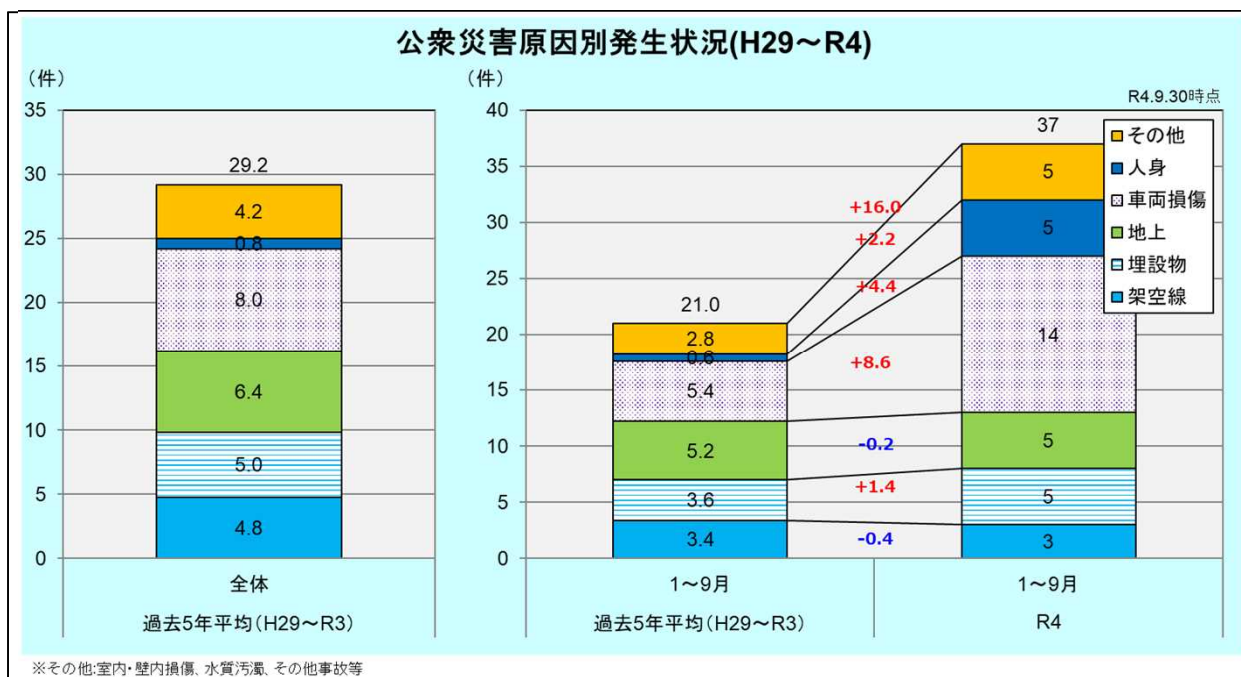
5) 労働災害の原因別事故発生件数

R4の9月までの労働災害は35件で過去5年平均と比べ6件増加しています。労働災害の原因は、過去5年平均と比べると全体的に増加していますが、特に、墜落、取扱運搬の事故が増加しています。



6) 公衆災害の原因別発生状況

R4の9月までの公衆災害は37件で過去5年平均と比べ、16件増加しています。R4の原因別発生状況は過去5年平均と比べると、車両損傷が大幅に増加しています。



2. 冬季特有の労働災害を防止しましょう！

これからの季節、厳しい寒さと激しい降雪により、現場での作業に大きく影響を受けることとなります。特に積雪や凍結による転倒、墜落・転落や路面の凍結によるスリップによる交通事故などの事故のリスクが高まります。これらの冬季における労働災害を防止するために、現場における安全に対する意識や取組を再度確認し、事故防止対策の徹底をお願いします。

令和4年10月25日

新潟地方気象台 発表

北陸地方 3か月予報

予報期間 11月から1月 <予想される向こう3か月の天候>

平均気温は、平年並みまたは低い確率ともに40%です。降水量は、平年並みまたは多い確率ともに40%です。

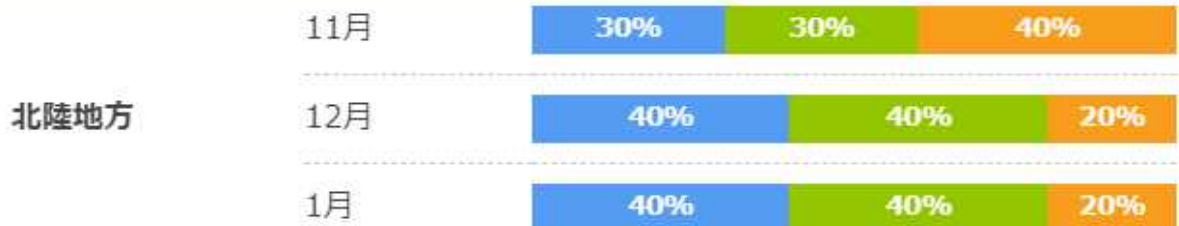
11月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう

12月 平年と比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

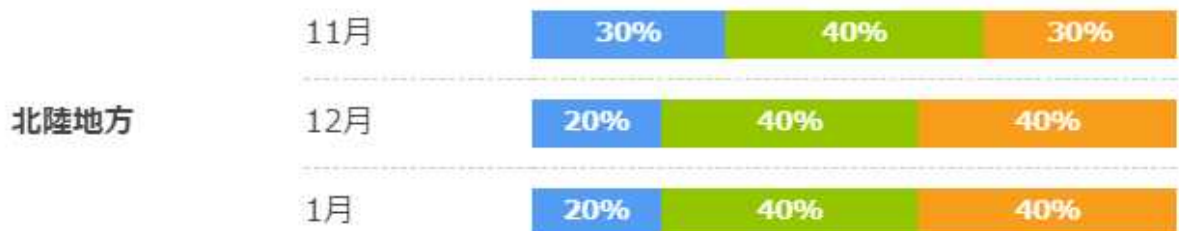
1月 平年と比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

■ 平年より低い(少ない) ■ 平年並 ■ 平年より高い(多い)

気温



降水量



3 . 令和4年度 北陸地方整備局 安全管理優良受注者の決定

北陸地方整備局では、平成元年より毎年9月第4週を「労働災害防止週間」と定め、建設工事における労働災害の防止に向けて、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その安全管理及び労働災害防止対策が特に優秀であって他の模範となる受注者を「安全管理優良受注者」として表彰しています。今回は、令和3年度に完成した北陸地方整備局発注工事の350者の受注者の中から17者を安全管理優良受注者として選定しました。

令和4年9月12日(月)に北陸地方整備局において表彰式を実施し、式典後には受賞企業の意見交換会をおこないました。

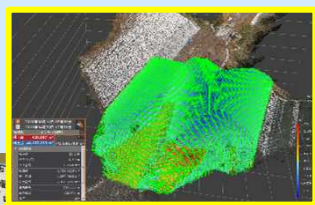
令和4年度 安全管理優良事例集をHPに掲載

安全管理優良受賞の17者の取り組み事例を北陸地方整備局ホームページに掲載しましたのでお知らせします。今年の取り組みはコロナ禍も踏まえた現場での安全対策が多く掲載されています。安全教育、安全管理等の参考として下さい。



夜間・休日を含む安全監視の強化

(WEBカメラによる監視システム)



エブリデイドローンを活用した土量管理



安全管理優良受注者表彰 北陸 事例集

検索

<https://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/ankenkanri.html>



建設工事事故データベース(SAS)の登録を忘れずに

- ・建設工事事故データベース(SAS)への登録をお願いいたします。
- ・建設工事事故データベース(SAS)は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- ・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- ・対象工事は、以下の通りです。
- ・登録の際は、主任監督員・受注者への事故番号、パスワードを主任監督員宛てに技術検査官より通知します。
- ・登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。
- ・登録する対象工事

工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

事故の分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861